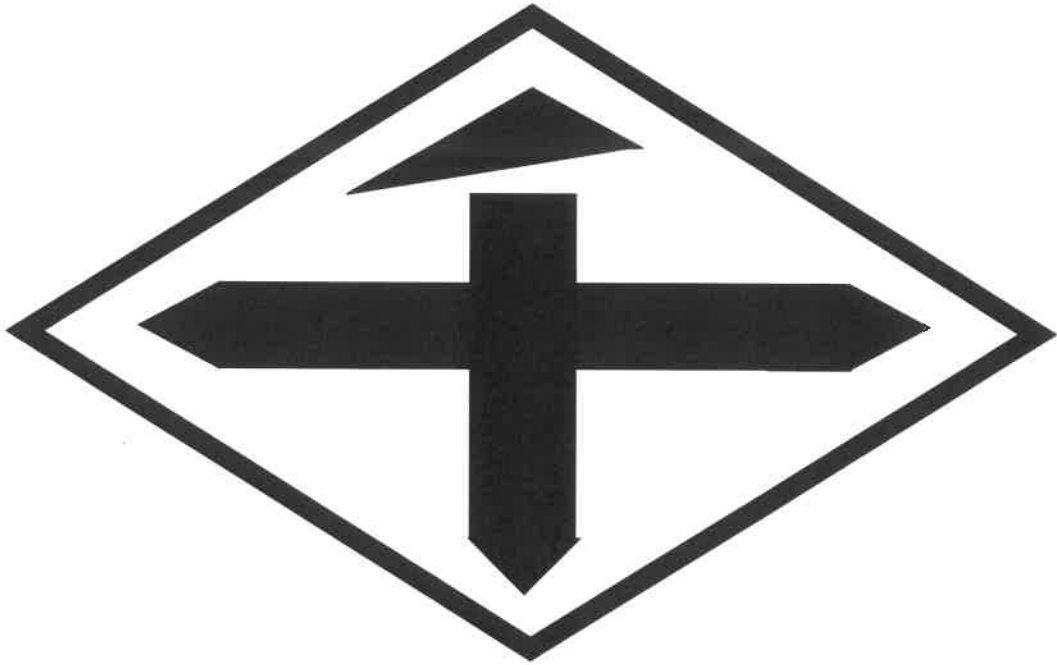


令和4年度

前期学校評価結果報告



八幡浜市立千丈小学校

第2回 学校関係者評価委員会

千丈小学校

1 日 時 令和4年9月5日(月) 18:00~18:30

2 場 所 千丈小学校 校長室

3 内 容

(1) 開会あいさつ(学校長)

学校が始まって間もないが、全体的には落ち着いている。児童の転出があり、100名となった。始業式欠席0人、うれしく思う。2学期は行事が多い。児童に仲間意識、成就感、達成感を持たせたい。

(2) 前期学校評価報告(教頭) ※別紙参照

(3) 意見交換(各委員さんより)

○ ICT関係について

- ・一人一台端末を使って、どんなことをしているのか。
→今まではノートに書いて提出が普通だったが、アプリ上で書いてすぐに送る。写真や動画が簡単に見ることができる。調べ学習がスムーズで、国語辞典や図鑑が不要になる。テストをパソコン上で行い、解答や集計がすぐにできる。
- ・すべての授業、すべての時間で利用しているわけではない。文字を書くこと、ノートをとることも大切である。
- ・情報を取捨選択する力が、ますます必要になるだろう。

○ あいさつについて

- ・あいさつがとてもよい。気持ちのよいあいさつができています。元気をもらっている。
- ・マスクをしているので、声が出しにくいのでは。
→登下校や運動中はマスクを外す指導をしているが、なかなか外さない子も多い。継続して指導していく。

(4) その他

- ・学校関係者評価委員会の日程が早すぎるのでは。2学期が始まってすぐなので、問題も発見しにくい気がする。
→今回は、1学期と夏休みの様子を報告させていただいている。第3回で、2学期と冬休みの様子となる。第3回の実施日については、検討する。

(5) 閉会あいさつ(学校長)

あいさつを今後も継続していく。ICTは、心配な点もあるが、避けては通れないものである。適切な指導をしていきたい。

令和4年度 前期学校評価アンケートまとめ

1 各項目についての考察

(1) 今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校について

児童、保護者ともに、おおむね高評価となっている。多くの児童が、安定した学校生活を送れていることが分かる。しかし、少数ではあるが、マイナス評価の児童がいることに目を向け、すべての児童が充実した学校生活を送ることができるよう配慮していきたい。

(2) 基礎・基本の定着について

授業については、おおむね高評価となっている。しかし、家庭での学習や読書については、一定数のマイナス評価が見られる。読書の日（月曜日）や自主学習（けてふれ学習）などの今年度から始めた取組は、児童に浸透しつつある。継続した指導を続けたい。

(3) 思考力・判断力・表現力の育成について

表現力に苦手意識をもっている児童が見られる。基本的な学習訓練（読む、書く、発表する等）を行うとともに、個人での思考する時間の確保、全体で議論する場など、より主体的・対話的な学習を意識した授業改善を行っていきたい。また、より効果的な一人一台端末の使用法についても、個人だけでなく、学校全体として研究していく必要がある。

(4) 命を大切にす教育の推進について

児童と保護者のゲームやSNSの利用についての回答にずれがある。（児20保18）家庭との連携や啓発をより一層行いたい。

防災教育の観点から、家庭での災害時の対応について、より啓発していく必要がある。学校での取組（避難訓練や防災学習）の中に、家庭との連携を含めた指導を取り入れる工夫をしたい。

(5) 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進について

児童、保護者ともに、教職員との信頼関係はおおむね良好だと言える。しかし、少数ではあるが、マイナス評価もある。言葉掛けや接し方など今後も配慮していきたい。粘り強さについては、評価しにくい部分がある。児童の頑張りを見逃さず、適切な評価、賞賛をしていきたい。

(6) 家庭との協力について

どの項目（あいさつ、基本的生活習慣、お手伝い）についても一定数のマイナス評価がある。粘り強く啓発をしていくしかない。特にお手伝いの習慣化については、家庭での声掛けや役割分担が必要となる。手伝いの意義を伝えることも含め、家庭への協力を依頼していきたい。

2 今後の目標と対策

(1) 目標

後期学校評価アンケートでのマイナス評価「3…あまり思わない」「4…まったく思わない」の割合を減らすとともに、平均値が1.50未満となるようにする。（※学校評価アンケートの内容を意識した指導が必要）

(2) 対策

現在の取組の見直し、継続を基本とし、新たな取組等で、児童、教師、保護者の負担が増えないように配慮する。

- ① 校報、学級通信等で啓発→防災関係、ゲーム・SNSのルール、お手伝い、
- ② 授業改善→主体的・対話的な活動、ICT活用

	1	2	3	4	計	平均
1 今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校						
児1 学校に行くのは、楽しい。	74	22	4	2	102	1.35
保1 お子様は、楽しく学校に通っている。	63	29	1	0	93	1.33
保護者の回答は、ほとんど「学校が楽しいと思っている。」であるが、児童の回答では、数名が「楽しくない。」と感じている。子どもが楽しくないと感じていることに、保護者が気づいていない場合もあるようだ。児童がしんどいと感じるときも、学校に登校して頑張っていることを認め、励ましていきたい。また、楽しくない原因が何か、学校生活での言動や児童の様子等から把握し、家庭と連携して個別に支援していくことが必要である。そのためには、教師がゆとりを持って児童と関わる時間を確保することが必要だと考える。						

2 基礎・基本の定着（授業・チャレンジタイム・補充学習・読書活動）						
児2 授業には、楽しく参加している。	77	20	2	3	102	1.32
児3 授業は、分かりやすい。	69	31	1	1	102	1.35
児19 家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	71	25	6	0	102	1.36
児23 平日（月～金）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）						
児24 休日（土、日、祝日）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）						
児25 読書の日（月曜日）には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。						
保2 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	59	33	1	0	93	1.38
保16 お子様は、読書の日（月曜日）には、本を読んでいる。	50	34	9	0	93	1.56
保17 お子様は、宿題や自主学習（予習・復習等）をする習慣を身に付けている。	45	35	13	0	93	1.66
児19保17	自主学習について、どんなことをしたらよいか分からないというご意見を懇談で聞いた。学力向上からも示唆されたように、家庭にも分かるように啓発していきたい。手本となるようなノートを通信にのせたり、みんなの様子が分かるように児童にも提示したりして、よりよい自主学習になるようにしていきたい。 1学期の後半から新しい自主学習の進め方を提案していただいたので、2学期からも引き続き取り組んでいく。廊下の掲示や学級で紹介するなど、意識を高める。					
児25保16	月曜日（ノーゲーム・ノーネットデー）が読書の日となっているのは、浸透してきていると感じる。学校では、図書室だけでなく市民図書館の本も整備され、子ども達は嬉しそうに色々な本を手にとって読んでいる。ただ、家に図書の本を持って帰って読むという習慣がない子も多い。今後、声かけをしながら読書習慣が身につくようにしていく。 読書は、児童・保護者とも肯定的意見が多くなった。月曜日は、読書するという習慣が身に付いてきた。引き続き継続していきたい。また、学校でも空いた時間を使って読書活動を奨励しているがこれも引き続き行っていきたい。また、読書の質を向上させるために本の紹介や読み聞かせなども積極的に行きたい。					

3 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学び、授業改善）							
児4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	54	37	8	3	102	1.61
児5	授業では、学級の友達と話し合う活動（ペア・グループ）をよくしている。	77	24	1	0	102	1.25
児6	授業では、chromebook（クロムブック）をよく使っている。	58	38	4	2	102	1.51
児7	chromebook（クロムブック）の使い方は分かる。（教えてもらった場合も含む）	83	18	0	1	102	1.21

4 命を大切にす教育の推進（心の教育・防災教育・情報教育）							
児9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	73	23	6	0	102	1.34
児10	友達に優しく接している。（同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む）	77	21	3	1	102	1.29
児11	学校のきまりが、守れている。	72	24	5	1	102	1.36
児12	学校では、自分や友達の安全に気を付けて行動している。	82	15	2	3	102	1.27
児13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	86	13	2	1	102	1.20
児22	家の人がいなるときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話をしている。	39	25	24	14	102	2.13
児20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	84	14	2	2	102	1.24
保4	学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	44	47	2	0	93	1.55
保5	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。（感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。）	63	30	0	0	93	1.32
保6	学校は、自分や他の人の命を大切にす教育（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育）の推進に努めている。	64	28	1	0	93	1.32
保7	学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	76	16	1	0	93	1.19
保11	お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	56	33	3	1	93	1.45
保12	お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	36	49	8	0	93	1.70
保18	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	42	33	16	2	93	1.76
保19	地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。（避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等）	19	53	21	0	93	2.02

児9保4

言葉使いについて、児童と保護者での意識に差がある。家での言葉使いがよくないと感じている保護者が多い。個人懇談でも言葉使いの悪さについて聞いたこともある。家での様子を保護者や児童に聞き、実態を把握していきたい。そして、道徳や学級活動の中で言葉使いについて学習し、それを通信で知らせたり、生活の中でよくない場面を見たら指導したりしていきたい。

児20保18

ゲームやSNSの利用時間について、全国学力・学習状況調査の質問紙調査で、6年生は全国平均や県平均より少ない傾向にあったが、個人的に見ると、休日かなり長時間使用している児童がいるようだ。家庭でのルールを守ることについての意識が低い児童がいる。ネット依存症等の病気との関係やルールを守ることの大切さなど、保健学習や学級活動で指導する必要がある。児童が、自分で判断して、正しい行動をとることができるよう、学年通信や校報等で、保護者への理解と協力をお願いしたい。

数値を見ると、保護者と子どもの差が大きい。(児童は甘め?保護者は厳しめ?)児童の意識が高まっているのはよいが、やはり個別対応が必要な児童については家庭と連携しながら、指導していく必要がある。

ゲームのきまりを、あまり守れていない。ノーゲーム・ノーネットデーの取り組みを継続していき、児童への呼びかけ・学級通信での呼びかけなどを引き続き行っていく。

否定的意見が児童・保護者とも一定数いる。長期休暇前に我が家のルールを書いてきてもらうが、この取組はとても良いと思う。長期休暇は生活リズムが崩れやすくなる。その前に家庭でのルールを確認するのはとても大切である。

児22保19

災害が起こったときの対応について親子間で理解に差があるように感じた。具体的な対応について親子で話し合い、いざというときに備えるようにしたい。

学校では避難訓練を定期的に行っているが、家庭での防災意識が低いことが分かる。家庭用の災害時対応について簡単なパンフレットを作成し、必要事項を書き込めるようにしてもいいのかもしれない。また、それを避難訓練の際に確認するようにしていくと、連動できてよいと思う。

学校外で災害が起こった時の行動について、各学級での指導や通信等で家庭へ呼びかけを継続していきたい。

5 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進(合い言葉は、「ぜったいにあきらめませんじょう!」)

児14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	89	11	2	0	102	1.15
児15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	68	29	5	0	102	1.38
児16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	74	22	3	3	102	1.36
保8	教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	64	27	1	1	93	1.34
保9	お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	64	28	0	1	93	1.33
保10	お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	43	43	7	0	93	1.61

児14保8

思う・やや思う、合わせて高い割合となっており、教師と児童や保護者との信頼関係が築けていると思われる。

児16保10

思う・やや思う、合わせて高い割合となっているが、保護者の「思う」の割合が児童より低く、児童の頑張りが見えにくいのではないかと思われる。

6 家庭の協力（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）							
児8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	67	26	8	1	102	1.44
児17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	65	30	6	1	102	1.44
児18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	68	24	10	0	102	1.43
児21	家で、お手伝いをしている。	44	38	14	6	102	1.82
保13	お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	64	24	4	1	93	1.38
保14	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	44	42	6	1	93	1.61
保15	お子様は、家で手伝いをしている	26	49	17	1	93	1.92

児8保13

挨拶があまりできていない児童がいる。挨拶については、できている児童はいつもできているし、できていない児童はできていない。児童会での話し合い、児童への呼びかけ・指導などを、継続的に行っていく必要がある。

あいさつや言葉遣いもその場その都度、声を掛けたり指導したりしていきたい。

あいさつやえしゃくを呼びかける掲示物の作成や学級での指導、児童会としての取り組みを積極的に行いたい。

児18保14

高学年の児童の一部に、寝る時刻が遅くなっている児童がいる。睡眠をとることの大切さについて、保健学習や学級指導を通して、繰り返し伝えていくことが必要である。また、元気アップ週間のがんばりカード等を活用して、個別に支援していくようにしたい。

児21保15

お手伝いについては、家庭による差が大きい。家族の一員として協力することの大切さやその価値について、道徳の時間の学習を通して理解させ、道徳的実践としてお手伝いに取り組みさせることが必要である。特に低学年の生活科や高学年の家庭科の学習を通して、お手伝いに取り組む時間を設定できるようにしたい。また、保護者に対しては、学級通信等で手伝いに取り組ませることの意義を伝え、手伝いが「家の仕事を手で伝える」という意味であることを理解していただき、協力をお願いしたい。

お手伝いについて保護者も児童もあまりしていないと答えている傾向が見られる。低学年では生活科でお手伝いについて学習したり高学年の家庭科でも学習したりしている。それらと関連づけて取り組ませたり、休みの日に取り組ませたり、自主学習として取り組ませたりして、お手伝いをするよさなどを繰り返し、話していきたい。

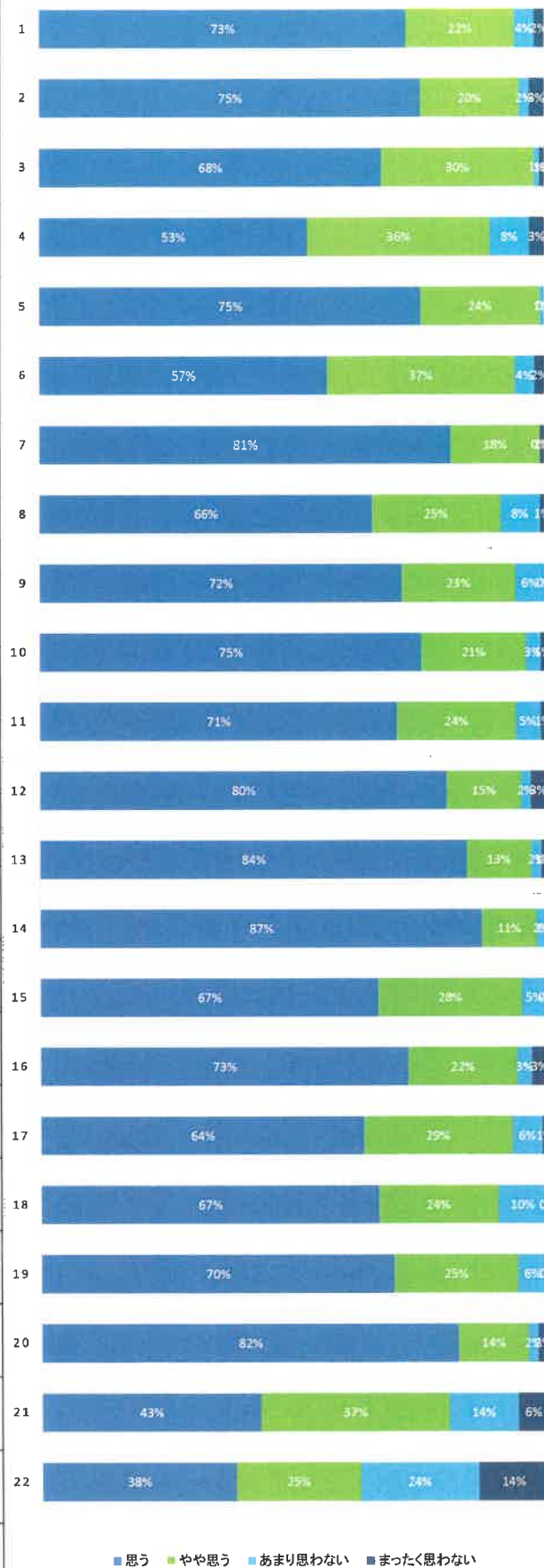
お手伝いがあまりできていない児童がいる。お手伝いカード等を作成し、お手伝いが家庭でできるように取り組んでいく。

児童・保護者とも否定的意見が多かった。お手伝いは、1年生の生活科の学習内容にもあるので、2学期は力をいれたい。自分でできることは進んで行えるよう意欲を高めさせたい。

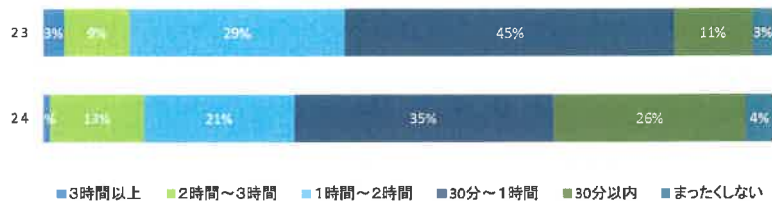
子どもたちがしているお手伝いを学級通信で紹介したり、休日にはお手伝いの宿題を出して習慣化を目指したい。

令和4年度(前期)児童アンケート(1/2)		(102/102名) 回答率100%					平均
		1	2	3	4	計	
1	学校に行くのは、楽しい。	74	22	4	2	102	1.35
2	授業には、楽しく参加している。	77	20	2	3	102	1.32
3	授業は、分かりやすい。	69	31	1	1	102	1.35
4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	54	37	8	3	102	1.61
5	授業では、学級の友達と話し合う活動(ペア・グループ)をよくしている。	77	24	1	0	102	1.25
6	授業では、chromebook(クロムブック)をよく使っている。	58	38	4	2	102	1.51
7	chromebook(クロムブック)の使い方は分かる。(教えてもらった場合も含む)	83	18	0	1	102	1.21
8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	67	26	8	1	102	1.44
9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	73	23	6	0	102	1.34
10	友達に優しく接している。(同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む)	77	21	3	1	102	1.29
11	学校のきまりが、守れている。	72	24	5	1	102	1.36
12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	82	15	2	3	102	1.27
13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	86	13	2	1	102	1.20
14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	89	11	2	0	102	1.15
15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	68	29	5	0	102	1.38
16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	74	22	3	3	102	1.36
17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	65	30	6	1	102	1.44
18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	68	24	10	0	102	1.43
19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	71	25	6	0	102	1.36
20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	84	14	2	2	102	1.24
21	家で、お手伝いをしている。	44	38	14	6	102	1.82
22	家の人がいないうちに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話している。	39	25	24	14	102	2.13

児童アンケートグラフ(1~22)



令和4年度(前期)児童アンケート(2/2)		3時間以上	2時間～3時間	1時間～2時間	30分～1時間	30分以内	まったくしない	計
23	平日(月～金)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	3	9	30	46	11	3	102
24	休日(土、日、祝日)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	1	13	21	36	27	4	102

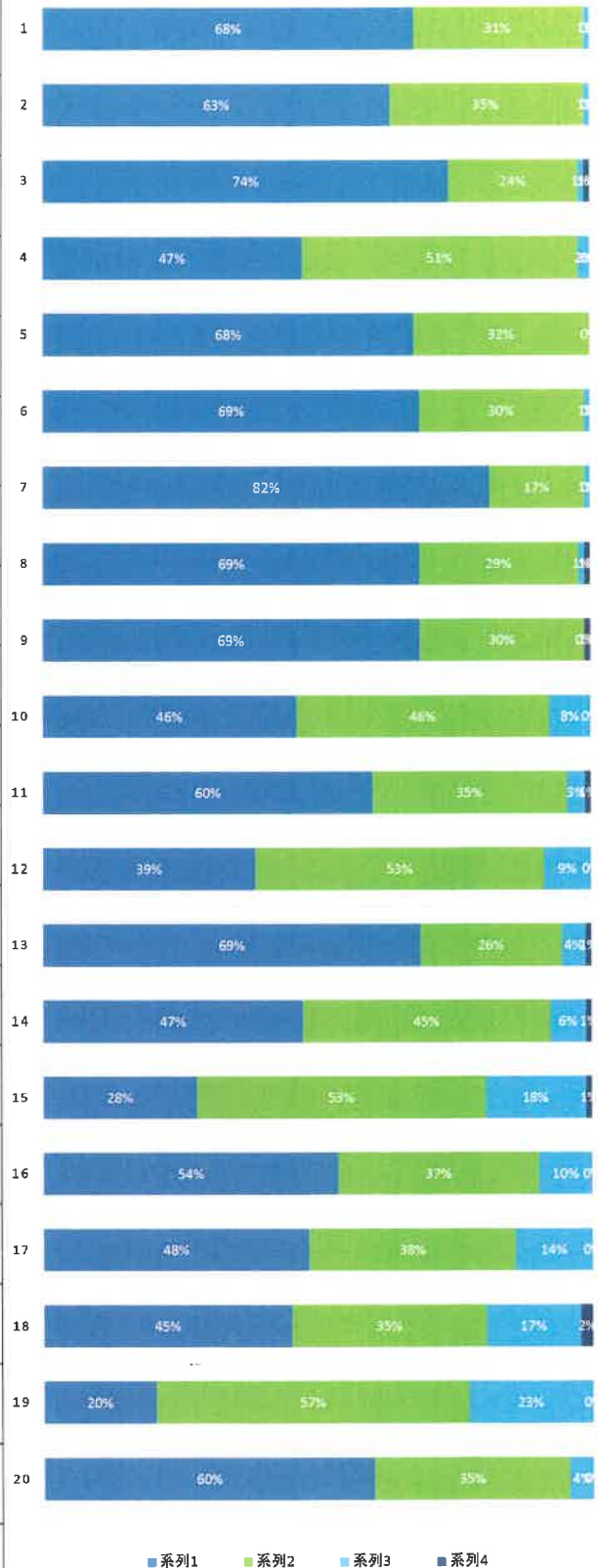


		1時間以上	30分～1時間	30分以内	まったく読まない	計
25	読書の日(月曜日)には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。	18	60	22	2	102



令和4年度(前期)保護者アンケート(1/2)		(93/102名) 回答率91%					平均
		1	2	3	4	計	
1	1. お子様は、楽しく学校に通っている。	63	29	1	0	93	1.33
2	2. 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	59	33	1	0	93	1.38
3	3. 学校は、あいさつ運動の充実に努めている。	69	22	1	1	93	1.29
4	4. 学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	44	47	2	0	93	1.55
5	5. 学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができている。(感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。)	63	30	0	0	93	1.32
6	6. 学校は、自分や他の人の命を大切に する教育(心の教育・人権教育・防災教育・ 情報教育・交通安全教育)の推進に 努めている。	64	28	1	0	93	1.32
7	7. 学校は、校報やホームページ、学級通 信等で情報を伝えている。	76	16	1	0	93	1.19
8	8. 教職員は、一人一人のお子様の理解に 努めている。	64	27	1	1	93	1.34
9	9. お子様と教職員は、良好な信頼関係 を築いている。	64	28	0	1	93	1.33
10	10. お子様は、めあてに向かって粘り強く がんばる子に育っている。	43	43	7	0	93	1.61
11	11. お子様は、明るく思いやりのある子に 育っている。	56	33	3	1	93	1.45
12	12. お子様は、正しく判断し行動できる子 に育っている。	36	49	8	0	93	1.70
13	13. お子様は、家庭で「おはよう」「いた だきます」「おやすみなさい」等の基本 的なあいさつをしている。	64	24	4	1	93	1.38
14	14. お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗 顔、歯磨き等の基本的生活習慣が身に付 いている。	44	42	6	1	93	1.61
15	15. お子様は、家で手伝いをしている	26	49	17	1	93	1.92
16	16. お子様は、読書の日(月曜日)には、 本を読んでいる。	50	34	9	0	93	1.56
17	17. お子様は、宿題や自主学習(予習・復 習等)をする習慣を身に付けている。	45	35	13	0	93	1.66
18	18. お子様は、ゲームやSNSについて、 学校や家庭のルールを守って利用してい る。	42	33	16	2	93	1.76
19	19. 地震等の災害が起こった場合の対応 を、お子様と話合っている。(避難場 所、連絡方法、保護者不在時の対応等)	19	53	21	0	93	2.02
20	20. 家庭で、お子様と会話をよくしてい る。	56	33	4	0	93	1.44

保護者アンケートグラフ(1~20)



★学校教育をよりよいものにするために、参考にさせていただきます。学校に対するご要望、ご提案、ご意見等ありましたらご自由に、お書きください。（ご返答が必要な場合は、お名前もお書きください。）質問項目以外で考察、ご意見等があればご自由にお書きください。	
1年	救命救急法講習を参観日の後などの昼間にしてもらったら助かります。 18時以降子どもを家に留守番させるのは不安ですし、その時間帯は子どものご飯やお風呂などがあって忙しいです。
1年	入学式の看板がないのは、とても寂しかったです。正門前などに看板があるだけで、親も子どもも、いよいよ入学だ、という気持ちがあります。大きく張り切ることができるし、写真撮影する際にも記念になると思うのですが。来年度以降、うちにはもう入学する子どもはいませんが、同じ気持ちの方は多くいると思うので、ご検討願えればと思います。
2年	2年生になり授業時間も増えたため、そこまで望まなくても良いのかわかりませんが、自主学習を増やして自分から学ぶ時間を作ってほしいです（スケジュールに書かれた物しか行わない）1年生の時にあった日記は自分の行動を振り返る良い課題なのかな。と思います。
2年	子供たちのためにいつもありがとうございます。うちの子は、先生が大好きです。温かく見守っていただけてありがたいです。
3年	先日パソコンを持って帰って算数の課題があった時、子供たちは課題が終わってもマイクはオフにしてなかったりなかなかパソコンを終了しませんでした。パソコンの近くに居ると私が映るので違う部屋にいた時、それをみていた保護者から連絡がありました。『勉強部屋みせて？』と言われてパソコン持って部屋見せようとしてるよ！？私はそれを聞いてビックリしました。そのあとすぐに学校に電話をしました。次の日、先生は子供達にマイクはオフにしないといけないことや問題をといたら速やかに終わらないといけない、家の中はプライベートな場所なのでおうちの方にもご迷惑になると指導をしてくれました。子供たちに話すのではなく、保護者にもわかるように文章にして伝えてほしかったです。
3年	引き取り訓練後であったりモートの課題ですが、親は仕事だったので子ども一人で課題をしました。帰って上の子に様子を聞いたのですが、パソコン持って場所を移動したり、お友達が部屋を見せてたりしてた。と…。上の子が最初ミュートしてくれたようですが、みんなが話すから話しくなくて場所移動してボリュームをあげたみたいです。たまたまテスト期間で上の子が家に居たから良かったものの、パソコンを落として壊す可能性もあるし、自慢できる子ども部屋もないので、今後家にパソコンを持って帰ることにちょっと不安です。
3年	屋外でマスクを外してもよくなっていますが、誰もマスクをのけないから、外しにくいようで。頭に酸素がいかず、成績が落ちてたり、お話が聞けてないのが、マスクのせいじゃないかと思っています。消毒もしすぎて子どもの手はガサガサです。感染対策も大切だと思いますが、あまり過剰にしすぎるのもどうかと思います。
4年	基礎基本をしっかりと教えていただけて、大変ありがたいです。子どもと話をする中で、いろいろなタブレットを使った取組を聞きまします。子どもの意欲を向上するのに有効な手立てなんだと日々感じています。特に、新聞作りは、早く学校に行っていたと毎日言っていました。親としても、出来上がりが気になっていたのですが、学年だよりに子どもたちの新聞を掲載されていて子どもたちの頑張りがつたわかりました。学校の取組が分かる内容の学年だよりも大変ありがたいです。
4年	夏の体操服（上）ですが、暑い時期の体育や運動会練習、陸上練習にはちょっと暑いな？と思います。実際子ども体操服が暑いと言っています。熱中症対策の観点からも素材やデザイン（腕にゴムが無い）等、見直していただけたらと思います。
4年	救命救急法講習は参観日の後などの昼間の時間にしてもらおうと有難いです。夕方は色々忙しい時間帯だからです。
6年	先生方のご尽力があり、運動会、修学旅行が無事終了できたことを、心より感謝しております。残された小学校生活を楽しくしてもらおう様サポートしていきたいと思っています。いつもありがとうございます。

保護者自由記述に関する回答

1年	○救命救急法講習会を参観日の後など昼間にしてほしい。
4年	次年度の行事を決める際、保護者アンケートを実施し、昼間の開催を望む声が多ければ、参観日と併せて実施できるように調整します。ただし、今年度、参観日を減らして引渡し訓練のみを行っていますので、6月か7月の参観日が1日増える場合があります。救命救急やAEDの使用は、プール開放だけでなく日常でも必要なので、4月または5月に開催すれば、回数は増えませんが、学年PTA等の兼ね合いもありますので、終了時刻が遅くなる倍があります。
1年	○入学式の立て看板を作って欲しい。 昔は、あったようですが、いつからどういう理由でなくなったのかは、不明です。予算との兼ね合いもありますが、検討します。
2年	○自主学習について 各学年の実態に応じて、自主学習を行わせています。1学期後半より、「けてふれ学習」も開始し、学校全体で自主学習の学習法について研究を始めたところでもあります。お子様の様子を見守るとともに、声掛けをお願いします。
3年	○一人一台端末の使用マナーについて 10月から本格的な持ち帰りが始まる予定です。学校でも、活用ルールも定め、くり返し、使用の仕方やマナーについて指導を行います。しかし、家庭でどのように使用しているか全てを把握することはできません。ご家庭でも、ご指導や見守りのご協力をお願いします。活用ルールについては、書面に持ちかえらせますので、ご確認ください。
3年	○マスク、消毒について 学校としては、マスクを外す指導や個に応じた消毒等、国、県、市からの通知に従い、一般的な範囲で行っている認識です。過剰に感じられるならば、更に丁寧に個に応じた声掛けを行っていきたく思います。その旨を、遠慮なく学級担任もしくは、管理職にお伝えください。
4年	○体操服の素材、形状について 素材や形状の見直しは、業者との兼ね合いがあり、すぐの変更は難しいのが現状です。ただ、熱中症予防の観点からも見直しを検討していきたいと考えます。 運動会等の学校行事の場合は除きますが、体育の授業や放課後の陸上練習の際は、ご家庭の事情によって、無地（ワンポイント程度は可）のTシャツの使用を認めることとします。 運動時は、シャツを出している方が、熱がこもりにくくなり、体感温度が下がるという研究もされています。場面にもよりますが、シャツの出し入れについても、教職員間で共通理解を図り、熱中症予防に対応していきたいと思っています。